

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	女性福祉資金貸付			款	4	項	1	目	4	事業	3	整理番号	225	
担当部課名	保健福祉部杉並福祉事務所			係名	管理係			連絡先電話番号	4306		昨年度整理番号	230		
(平成23年度担当部課名)				保健福祉部杉並福祉事務所				予算事業区分	既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	50	年度									<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		(1) 杉並区女性福祉資金貸付条例					
	配偶者がいないか、いてもその扶養を受けられない杉並区在住の女性で、都内に6箇月以上居住し(1)親・20才以上の子・兄弟姉妹を扶養している人。(2)25才以上で被扶養者はいないが、年間所得358万円以下の人。								(2) 杉並区女性福祉資金貸付条例施行規則					
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ○経済的自立と生活意欲を助長し、社会的に安定した生活を送れるようにします。						活動指標名(式)							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) ○借受資格を審査の上、目的に応じて修学資金など11種類の資金の貸付けを行う。 ○貸付終了後、据置期間を経て、償還に関する債権管理を行う。						成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標								
						成果指標名(1)		返還金償還率						
						算定式・指標の説明等		返還金÷返済予定額×100						
						成果指標名(2)								
						算定式・指標の説明等								
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度計画	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績							
指標	活動指標(1)	①	件	24	18	34	24	39	23	162.5				
	活動指標(2)	②	千円	13179	18054	17630	15298	22372	16127	146.2				
	成果指標(1)	③	%	24.6	25.0	27.0	24.0	32.1	25.0	133.8				
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	13,670	19,391	18,220	25,174	23,257	17,464	23年度予算執行率% 92.4				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 平成22年度から保証人なしで貸付ができるようになったことから、貸付額が大幅に増加しました。				
	(内)委託費	⑦	千円	423	1,270	556	1,270	819	1,270					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.89 0.00	0.89 0.00	0.87 0.00	0.60 0.20	0.96 0.20	0.85 0.20					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	7,902	7,939	7,760	5,340	8,544		7,565			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	616	616		616			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	21,572	27,330	25,980	31,130	32,417	25,645					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	898,833	1,518,333	764,118	1,297,083	831,205	1,115,000					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0		0			
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0		0			
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0		0			
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0		0			
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	21,572	27,330	25,980	31,130	32,417	25,645					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 225

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		女性福祉資金貸付	39	件	22,372
		債権管理回収業務の事業委託	19	件	748
		その他（貸付事務費）			137
(2) 事業実績	配偶者がいないか、いてもその扶養を受けられない、杉並区内に在住している女性の経済的自立を図るため、各種資金の貸付を行いました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和50年度 貸付件数38件 貸付金額17,392千円 償還金額15,375千円 平成22年度 貸付件数34件 貸付金額17,630千円 償還金額16,842千円 平成23年度 貸付件数39件 貸付金額22,372千円 償還金額19,104千円 過去5年の貸付金額は横ばいであったが、22年度以降増加傾向にある。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	債権回収委託に伴う個人情報の取り扱いについて、不安の声が寄せられたことがありますが、丁寧に説明し理解を得ております。
	今後の予測	不景気や東日本大震災の影響で生活資金や資格取得のための技能習得資金の貸付の増加が見込まれます。
評価と課題		女性福祉資金貸付制度により、これまで女性の経済的自立と生活意欲の向上を図り、女性福祉の増進に寄与してきました。平成23年度は貸付額が大幅に増加しましたが、景気低迷に伴う債務者の経済状況の悪化により、債権回収業務が大きな課題となっています。このため、平成20年度から実施している債権回収業務委託や職員による電話催告等により、償還率の向上に努めていきます。

改善・見直しの方向（中長期）	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input type="radio"/> 現状維持	<input checked="" type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更		<input type="radio"/> 実施方法の変更	
	社会福祉協議会の生活福祉資金貸付制度などと重複する部分が多く、借受人の収入基準も比較的高く設定されているなどの課題があることから、これまでの実績や社会経済情勢を踏まえ、縮小の方向で事業内容の見直しをしていきます。また、償還については電話催告、文書催告などのほか、今年度から修学資金については、連帯借受人(学生)との面談も導入するなど、きめ細かい滞納整理を行い、債権回収率の向上を目指します。現在実施している債権管理回収業務委託については、委託内容を見直しながら継続していきます。					

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		母子福祉資金貸付		款	4	項	1	目	4	事業	4	整理番号	226				
担当部課名		保健福祉部杉並福祉事務所		係名	高円寺事務所 管理係		連絡先 電話番号	4302		昨年度 整理番号	231						
(平成23年度担当部課名)		保健福祉部杉並福祉事務所		予算事業区分				既定事業									
事業開始		昭和	▼	40	年度									<input type="checkbox"/> 主要事業			
事務事業の概要	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input checked="" type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等						(1) 母子及び寡婦福祉法第13条			
	都内に6箇月以上お住まいでかつ貸付申請時に杉並区在住の母子家庭の母等で20歳未満の子を扶養している方								(2) 東京都母子福祉資金貸付条例								
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○母子家庭の母とその扶養する子が経済的に自立し、生活意欲の向上が図られている状態にします。						活動指標名(式)								
									(1) 相談者数								
								(2)									
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○杉並区民で都内に6箇月以上お住まいの母子家庭の母及び子に対して、経済的に自立し、安定した生活を送るために必要な資金貸付を行う。						成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標									
								成果指標名(1) 貸付件数									
								算定式・指標の説明等									
								成果指標名(2)									
								算定式・指標の説明等									
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度 計画	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %							
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績										
指標	活動指標(1)	①	人	291	300	291	300	215	300	71.7							
	活動指標(2)	②															
	成果指標(1)	③	件	286	160	326	150	341	150	227.3							
	成果指標(2)	④															
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	281	351	312	351	298	360	23年度予算執行率% 84.9							
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0				特記事項 納入通知書の印刷枚数が在庫数との関係で少なく済んだため、事務費が減少しました。							
	(内)委託費	⑦	千円	163	167	167	176	175	175								
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	3.69	0.00	3.20	0.00	3.24	0.00			2.50	0.90	2.12	0.90	2.33	0.90
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	32,764	28,544	28,901	22,250	18,868			20,737					
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	2,772	2,772			2,772					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	33,045	28,895	29,213	25,373	21,938	23,869								
	単位あたりコスト (⑪-⑥)÷①	⑫	円	113,557	96,317	100,388	84,577	102,037	79,563								
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0					
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0					
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0								
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計 (⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	33,045	28,895	29,213	25,373	21,938	23,869								
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 226

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		貸付事務費			
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	貸付件数、貸付額は新規だけでなく継続貸付を含めると、平成22年度は186,447,884円だったのが平成23年度には、195,998,414円と大幅に増加しています。それに伴い、償還事務件数も増加しています。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	修学資金、就学支度金などの教育に関する貸付が大部分を占めていますが、最近では、母子家庭の増加により、生活安定のための生活資金貸付が増えています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	事業資金の貸付決定をもっと迅速にしてほしい、といった要望があります。
	今後の予測	経済不況、母子家庭の増加など、社会経済状況の深刻化により、ますます母子福祉資金の申請者は増加することが予想されます。
	評価と課題	無利子または低金利で修学資金の支援が受けられることや、母子自立支援相談員が、現在の生活環境の改善や将来的な自立に向けた、総合的な相談と支援を行っていることで、母子家庭の経済的、精神的な自立のために大きな役割を果たしています。 一方、連帯保証人に関する要件緩和により、連帯保証人を立てず有利子で借りる人が増えていることから、今後の債権回収に課題が残ります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
		貸付件数、滞納件数とも今後の増加が予想されるため償還台帳の整備を引き続き行い、着実に効率的な償還事務を進めていきます。また、貸付事務にあたり、貸付の必要性や償還時の負担をしっかりと見極めながら進めていきます。	

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		母子寡婦福祉団体連合会助成		款	4	項	1	目	4	事業	5	整理番号	227
担当部課名		保健福祉部子育て支援課		係名	子ども家庭支援係		連絡先電話番号	1362		昨年度整理番号	232		
(平成23年度担当部課名)		保健福祉部子育て支援課		予算事業区分				既定事業					
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	46	年度		<input type="checkbox"/> 主要事業					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 母子及び寡婦福祉法 (2) 杉並区母子寡婦福祉団体連合会補助金交付要綱						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		〇母子寡婦福祉団体連合会に対し、ひとり親家庭を支援する事業の経費を補助します。		活動指標名(式)		(1) ひとり親医療費助成対象人数 (2)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		〇母子寡婦福祉団体連合会に対し、ひとり親家庭を支援する事業の経費を補助する。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
				成果指標名(1)		(代)イベント参加者数							
				算定式・指標の説明等									
				成果指標名(2)									
				算定式・指標の説明等									
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %		
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績		
指標	活動指標(1)		①	人	2,681	2,659	2,789	2,723	2,822	2,901	103.6		
	活動指標(2)		②										
	成果指標(1)		③	人	218	150	248	150	292	200	194.7		
	成果指標(2)		④										
総事業費・コスト把握	事業費		⑤	千円	200	200	200	200	200	200	23年度予算執行率% 100.0		
	(内)投資的経費等		⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内)委託費		⑦	千円	0	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		⑧	人	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00			
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)		⑨	千円	888	892	892	890	890			890
		(内)非常勤職員分		⑩	千円	0	0	0	0	0			0
	総事業費⑤+⑨+⑩		⑪	千円	1,088	1,092	1,092	1,090	1,090	1,090			
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①		⑫	円	406	411	392	400	386	376			
	財源	受益者負担分		⑬	千円	0	0	0	0	0			0
		国からの補助金等		⑭	千円	0	0	0	0	0			0
		都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0			0
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	1,088	1,092	1,092	1,090	1,090	1,090				
受益者負担比率⑬÷⑪		⑳	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 227

23年度の事業実施状況	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		(1)主な取組み	母子寡婦福祉団体連合会助成	1
	その他 ()			0
(2)事業実績	ひとり親家庭の仲間作りを進めるため、母子寡婦福祉団体が開催する夏休みバスハイク、クリスマス会等のイベントを支援します。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	母子福祉団体数 設立当初 8団体、昭和53年 6団体、昭和61年 3団体～現在に至ります。		
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	①バスハイクやクリスマス会等団体のイベントの子どもの参加対象年齢が中学生以下や小学生以下のため、中学生以上の子どもが参加できなくて残念だという意見がありました。 ②ひとり親は仕事や育児等で忙しく、団体会員への参加を呼びかけても中々会員数が増えない現状があるという声がありました。		
	今後の予測	ひとり親世帯が増える中で、会員数は増えていません。団体のイベント参加者に団体会員の参加を呼びかけても会員数が増えない状況にあるため、団体の活動を広くPRして参加を呼びかけるとともに働くひとり親が団体活動に参加しやすいよう工夫していかなければ、会員数が減少する可能性があります。		
評価と課題	団体が実施するバスハイク等の事業を後援し、広報、区公式ホームページに掲載して周知を図りました。 団体のイベントの参加を通じてひとり親家庭同士の交流は図られてはいますが、日々忙しいひとり親同士の交流の機会がより広がるよう、団体の活動はもとより、NPO等とも協同して仲間づくりを進めます。			

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更		<input type="radio"/> 実施方法の変更	
	①団体の事業が広く知られるよう周知方法や事業内容をアドバイスするなど、区内のひとり親の仲間づくりが進むよう団体の活動をサポートします。 ②団体の会員が増えることはひとり親同士の交流が広がるとともに、団体運営の活性化にもつながると考えます。新たな会員の参加が増えるようひとり親への働きかけを団体とともに進めます。 ③区からの補助金の適正な活用についてアドバイスを行うとともに、公的機関に設置している自動販売機による事業収入が安定した収益を上げているため、補助金に頼らない団体の運営を働きかけていきます。					

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 228

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		災害援護資金新規貸付数	3	世帯	9,600
		東北地方太平洋沖地震による住宅被害世帯に対する生活再建支援金の給付	16	世帯	21,800
		平成17年度貸付分の災害援護資金の償還を開始(都への償還額)	4	人	1,092
		その他 (災害援護資金償還金への利子補給)			46
	(2) 事業実績	平成17年水害の際に災害援護資金を貸し付けた被災者については、償還業務を行うとともに利子補給を行っています。平成23年東日本大震災の区内被災者については、半壊以上の住宅被害3世帯に対して災害援護資金の貸付を行いました。また、半壊以上の住宅被害があった16世帯に対し、住宅改修費用等の一部を支援する生活再建支援金を給付しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	最近台風など従来型の大規模災害に加え、平成17年度のような集中豪雨以降度々発生している都市型水害が主なものでした。しかし、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により東京も災害救助法が適応され、杉並区においても全壊及び半壊の被害が出て災害援護資金の貸付を開始しました。また、住宅被害世帯に対して生活再建支援金の給付が行われました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	平成23年3月11日に発生した東日本大震災により家屋被害が生じています。半壊以上の被害者には災害援護資金の貸付制度が利用できる可能性があり、申込期間が平成30年3月31日までとなっているため貸付の問い合わせがあります。
	今後の予測	東日本大震災に伴う災害援護資金貸付の申込期間が平成30年3月31日までであるため、少数ではありますが引続き貸付の相談が予想されます。
	評価と課題	杉並区は平成17年の水害の際に行った災害援護資金貸付の経験を活かし、東日本大震災に伴う災害援護資金の貸付を順調に行うことができました。申込期間が平成30年3月31日までであるため、今後の貸付相談に対しても滞りなく対応できるようにマニュアル等を作成し確実に引継ぎが行える体制を整備します。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input type="radio"/> 現状維持	<input checked="" type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更	<input type="radio"/> 実施方法の変更		
	平成23年度東北地方太平洋沖地震による住宅被害世帯に対する生活再建支援事業は平成23年度で終了しました。しかし、災害援護資金貸付に関しては縮小傾向にありますが、平成30年3月31日まで申込期間があるため、予算措置を含め被災者の要望に沿えるよう準備が必要です。また、現在3件の災害援護資金貸付を行っていますが、据置期間6年償還期間7年で合計13年間と長期に渡る債権管理を行うことになります。そのため、据置期間終了後、償還が順調に開始できるようにマニュアルの整備と引継ぎが必要となります。					

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		小災害被災者見舞金・弔慰金の支給 款 4 項 1 目 5 事業 2					整理番号	229		
担当部課名		保健福祉部管理課		係名	地域福祉係		連絡先電話番号	1357		
(平成23年度担当部課名)		保健福祉部管理課					予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	36	年度	<input type="checkbox"/> 主要事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 火災、風水害等の小災害により被災した区内居住者及び事業主				根拠法令等	(1) 杉並区小災害被災者応急援護措置要綱 (2)			
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○被災者が当面の生活を送ることができるようにします。				活動指標名(式)	(1) 配布対象被災世帯数(火災・水害)・事業所数(水害) (2) 一時避難所設置数			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○被災者に災害見舞金、弔慰金を交付する。併せて、日本赤十字の見舞品も配布する。 ○被災状況により、一時的な宿泊場所の確保について支援する。				成果指標	※(代) = 適当な指標がない場合の代替指標			
				成果指標名(1)						
				算定式・指標の説明等						
				成果指標名(2)						
				算定式・指標の説明等						
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画		
指標	活動指標(1)	① 件	67	104	44	104	56	119	53.8	
	活動指標(2)	② 件	0	1	0	1	0	1	0.0	
	成果指標(1)	③								
	成果指標(2)	④								
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	1,600	3,010	1,270	3,010	1,330	3,010	23年度予算執行率% 44.2	
	(内)投資的経費等	⑥ 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 火災は減少しましたが水害が増加し、件数としては増加となったため、昨年度に比べ執行率が上がりました。	
	(内)委託費	⑦ 千円	0	0	0	0	0	0		
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	0.40 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	0.40 0.00	0.10 0.00	0.20 0.00		
	人件費	⑨ 千円	3,552	2,676	2,676	3,560	890	1,780		
	(内)非常勤職員分	⑩ 千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	5,152	5,686	3,946	6,570	2,220	4,790		
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫ 円	76,896	54,673	89,682	63,173	39,643	40,252		
	受益者負担分	⑬ 千円	0	0	0					
	国からの補助金等	⑭ 千円	0	0	0					
都からの補助金等	⑮ 千円	0	0	0						
その他の補助金等	⑯ 千円	0	0	0						
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯	⑰ 千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源⑪-⑰	⑱ 千円	5,152	5,686	3,946	6,570	2,220	4,790			
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳ %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 229

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		火災見舞金	30	件	880
水害見舞金	26	件	300		
弔慰金	3	件	150		
その他 ()			0		
(2) 事業実績	23年度実績 火災見舞金 30件 880,000 水害見舞金 26件 300,000 弔慰金 3件 150,000				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業開始当初から、見舞金は被災者への一時金として効果がありましたが、近年、被災後の一時的な住居を求める相談が増えています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	見舞金品は非常にありがたいと、被災者から感謝の声を多くいただいています。見舞金、毛布、日用品を給付するため、特に苦情はありません。
	今後の予測	災害は予測できませんが、火災は減少しています。都市部全体で見ると、都市型水害は減少せず、雷雨やヒョウが降ったりと急激な気象変化が見受けられます。他県では竜巻発生の記事が起りましたが、今後も局地的な災害が起こる気象状況が懸念されます。
評価と課題	火災が減少したものの、水害が多くなりました。水害被害者へ見舞金を渡す際、自営業の営業時間の関係や被災者の勤務時間に合わせて素早くお渡しできるよう取り組んでいます。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更	○ 実施方法の変更		
急な対応が多い事業なので、日ごろから手続き書類、備品などを整理して、迅速な対応ができるように常に準備しておきます。						

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		障害者福祉会館の維持管理		款	4	項	1	目	6	事業	1	整理番号	230	
担当部課名		保健福祉部障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2275		昨年度整理番号	235		
(平成23年度担当部課名)		保健福祉部障害者生活支援課					予算事業区分	既定事業						
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	57	年度									<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		(1) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 (2) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則					
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適な環境の中で、各種教室等への参加や活動を行うことができるよう施設の維持管理をする。					活動指標名(式)		(1) 施設の延べ床面積 (2) 保守委託契約件数					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、設備の保守点検等を実施する。					成果指標		※(代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
		成果指標名(1)		不具合数(代) = 施設設備の修繕件数		算定式・指標の説明等								
		成果指標名(2)				算定式・指標の説明等								
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %			
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績			
指標	活動指標(1)	①	m ²	1,744	1,744	1,744	1,744	1,744	1,744	1,744	100.0			
	活動指標(2)	②	件	9	9	9	9	9	9	9	100.0			
	成果指標(1)	③	件	12	0	11	6	12	6	6	200.0			
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	24,770	28,300	24,691	27,095	25,239	29,853	23年度予算執行率% 93.2				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円	18,240	20,198	18,375	19,071	18,997	21,277					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.11 0.00	0.10 0.00	0.11 0.00	0.10 0.00	0.11 0.00	0.11 0.00	0.11 0.00	成果指標(不具合数)は、これまで発生しないことが望ましいため0としてきましたが、施設が老朽化しているため、平成23年度計画から、前年度実績の1/2としました。 受益者負担 = コピー代、自動販売機使用料、私用電話料。			
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	977	892	981	890	979	979				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	25,747	29,192	25,672	27,985	26,218	30,832					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	14,763	16,739	14,720	16,046	15,033	17,679					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	298	298	282	281	296	296				
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0				
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	298	298	282	281	296	296					
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	25,449	28,894	25,390	27,704	25,922	30,536					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	1.2	1.0	1.1	1.0	1.1	1.0						

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 230

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		施設保守管理委託	1	所	18,602
		光熱水費	1	所	5,548
		維持管理経費	1	所	1,089
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	障害者福祉会館は、障害者雇用支援事業団と併設のため、建物の保守管理や定期清掃等維持管理については常に双方で連携を図っています。節電にも積極的に取り組みました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成20年11月までは、杉並福祉事務所高井戸事務所が1階部分に入っていたため、平成19年度までの保守点検委託等維持管理は福祉事務所が中心になって行ってきました。その後福祉事務所が移転し、跡地に障害者雇用支援事業団が入ってきたため、保守点検委託等維持管理は、当課が行うようになりました。保守点検委託費用、光熱水費は、床面積を按分し、障害者雇用支援事業団、障害者福祉会館の双方で負担しています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	障害者福祉会館で実施している各種教室、会議室の貸し出し等は、利用者に概ね好評です。
	今後の予測	建築後約30年が経過しており、機械設備等の老朽化が進むことから、修繕費が増加することが予測されます。
	評価と課題	利用者の安全で快適な環境を確保するため、障害者福祉会館運営協議会と連携を密にして、施設の保守管理に注意を払うとともに、備品類の効果的な利用や光熱水費の節減等に協力を求めてきました。このため、施設内で大きな事故もなく、多くの利用者からは安心して施設を利用できると喜ばれています。しかし、施設の老朽化に伴う設備の不具合等も増えてきており、適正な維持管理が求められています。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更	<input type="radio"/> 実施方法の変更		
	<p>○建物1階、障害者雇用支援事業団の保守管理業務は、小額修繕を除き、障害者福祉会館の維持管理事業で全て行っています。したがって今後も不具合等発生時には迅速な対応をしていきます。</p> <p>○建物の老朽化に伴って、今後は不具合な状況も多く発生すると思われませんが、保守管理業務の円滑な運営のために、区・障害者福祉会館・障害者雇用支援事業団の三者で連携を図っていきます。</p> <p>○障害者雇用支援事業団は民間事業者のため、建物の保守管理に当たり、本庁職員の業務負担が増大する傾向にあります。</p>					

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	視覚障害者会館の維持管理	款	4	項	1	目	6	事業	2	整理番号	231	
担当部課名	保健福祉部障害者生活支援課	係名	管理係			連絡先電話番号	2275			昨年度整理番号	236	
(平成23年度担当部課名)		保健福祉部障害者生活支援課							予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	57	年度							<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 視覚障害者会館及びその利用者				根拠法令等	(1) 杉並区障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 (2) 杉並区障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則					
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適な環境の中で、活動できるように施設を維持管理する。				活動指標名(式)	(1) 施設延床面積 (2) 保守委託契約件数					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、機械設備の保守点検等を実施する。				成果指標	※(代)＝適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 施設設備の修繕件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等					
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %	
			実績		計画	実績		計画(目標値)	実績			計画
指標	活動指標(1)	①	m	167	167	167	167	167	167	167	100.0	
	活動指標(2)	②	件	2	2	2	2	2	2	2	100.0	
	成果指標(1)	③	件	0	0	0	0	0	0	0		
	成果指標(2)	④										
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	1,862	1,694	1,658	1,429	1,235	0	23年度予算執行率% 86.4		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 24年度からは維持管理に関する保守委託契約費・光熱水費等、すべて視覚障害者会館事業運営費として支出することになった。(指定管理制度みなおしによる。)そのため、事業:視覚障害者会館維持管理はなくなる。		
	(内)委託費	⑦	千円	655	673	639	673	505	0			
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.11 0.00	0.10 0.00	0.11 0.00	0.10 0.00	0.11 0.00	0.11 0.00			
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	977	892	981	890	979			979
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			0
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	2,839	2,586	2,639	2,319	2,214	979			
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	17,000	15,485	15,802	13,886	13,257	5,862			
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0			
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	2,839	2,586	2,639	2,319	2,214	979			
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 231

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		施設保守管理委託	1	所	334
		光熱水費	1	所	730
		維持管理経費	1	所	171
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	視覚障害者会館の維持管理については、指定管理者であるNPO法人杉並区視覚障害者福祉協会と連携し、利用者の安全安心と快適性の確保に努めています。当課が行う維持管理事業の内容は、光熱水費のほか清掃業務委託及び機械設備保守点検業務委託のみで比較的規模も小さく、適正に事業の執行が行われています。(その他の保守点検業務は指定管理者に委託。)			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成18年度からNPO法人杉並区視覚障害者福祉協会が指定管理者として施設の管理運営等を行っています。平成23年度に指定管理者の指定期間が満了となりましたが、平成24年度以降も継続して3年間指定管理者として指定しました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特段苦情はありません。
	今後の予測	
	評価と課題	利用者の安全で快適な環境を確保するため、指定管理者であるNPO法人杉並区視覚障害者福祉協会と連携を密にして、施設の保守管理に注意を払うとともに、備品類の効果的な利用や光熱水費の節減等に協力を求めてきました。このため、施設内で大きな事故もなく、多くの利用者からは安心して施設を利用できると喜ばれています。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更	<input type="radio"/> 実施方法の変更		
	<p>○今後も、備品類の効果的な利用や光熱水費の節減等の協力をはじめ、NPO法人杉並区視覚障害者福祉協会と十分協議を重ねます。また、定期的なモニタリングも実施します。</p> <p>○指定管理者として自立し、自主的に収益をあげる方法について、ともに検討していきます。</p>					

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		障害者交流館維持管理		款	4	項	1	目	6	事業	3	整理番号	232	
担当部課名		保健福祉部障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2275		昨年度整理番号	237		
(平成23年度担当部課名)		保健福祉部障害者生活支援課						予算事業区分	既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	7	年度									<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		(1) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 (2) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例					
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適な環境の中で活動できるよう施設を維持管理する。						活動指標名(式)		(1) 施設延床面積(2施設合計) (2) 保守委託契約件数				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○利用者にとって快適な施設を維持するために、機械設備の保守点検等を実施する。						成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標				
				成果指標名(1)		不具合件数(代)								
				算定式・指標の説明等										
				成果指標名(2)										
				算定式・指標の説明等										
区分		単位	21年度		22年度		23年度				24年度計画	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績							
指標	活動指標(1)	①	m ²	693	693	693	693	693	693	693	100.0			
	活動指標(2)	②	件	1	1	1	1	1	1	1	100.0			
	成果指標(1)	③	件	0	0	0	0	1	0					
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	3,754	4,270	4,060	4,248	3,953	4,318	23年度予算執行率% 93.1				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 受益者負担分 = 障害者交流館使用料、自動販売機使用料。				
	(内)委託費	⑦	千円	2,451	2,741	2,576	2,701	2,587	2,743					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.11 0.00	0.10 0.00	0.11 0.00	0.10 0.00	0.11 0.00	0.11 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	977	892	981	890	979			979		
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			0		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	4,731	5,162	5,041	5,138	4,932	5,297					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	6,827	7,449	7,274	7,414	7,117	7,644					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	469	545	416	465	310			487		
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0		
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0			0		
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0			0		
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	469	545	416	465	310	487					
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	4,262	4,617	4,625	4,673	4,622	4,810					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	9.9	10.6	8.3	9.1	6.3	9.2						

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 232

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		施設保守管理委託	1	所	2,402
		光熱水費	1	所	1,365
		維持管理経費	1	所	185
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	障害者交流館の維持管理については、指定管理者である杉並区障害者団体連合会と連携し行っていますが、高円寺障害者交流館は併設の高円寺福祉事務所と役割分担を行いながら、利用者の安全安心と快適性の確保に努めています。また、和田障害者交流館についても、和田小学校の施設の一部を区民集会所と併設で目的外使用し、高円寺障害者交流館と同じ指定管理者と連携し同様な内容で行っています。 節電にも積極的に取り組みました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	和田障害者交流館については平成7年度の開設から杉並区障害者雇用支援事業団に、高円寺障害者交流館については平成14年3月の開設から杉並区障害者団体連合会に運営を委託してきましたが、平成18年度からは杉並区障害者団体連合会を指定管理者として管理運営等を行っています。区としては建物・設備等の維持管理を担ってきました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	高円寺交流館について、駐車場の狭さに関する意見があります。 保守管理委託については、特段苦情はありません。
	今後の予測	平成23年度をもって指定管理者の指定期間が満了となり、平成24年度からは業務委託に形態が変更となります。
	評価と課題	利用者の安全で快適な環境を確保するため、指定管理者である杉並区障害者団体連合会と連携を密にして、施設の保守管理に注意を払ってきました。このため、施設内で大きな事故もなく、多くの利用者からは安心して施設を利用できると喜ばれています。 高円寺交流館については、駐輪場が狭いことや、土壌環境の関係で地階施設の湿気が高いこと、また、入口自動ドアが防火扉仕様であり、緊急時に利用者避難が困難になる等の課題もあります。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	施設維持管理等の予算施行をしていく上で、備品類の効果的な利用や光熱水費の節減等の協力をはじめ、杉並区障害者団体連合会と十分協議を重ねます。また、定期的なモニタリングも実施します。		

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 233

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		樹木管理委託	1	所	1,554
		光熱水費(あすなろ作業所)			2,500
		パソコン賃借料			216
		一般購入・施設修繕等			1,006
		その他(研究会負担金、報償費 ほか)			289
	(2) 事業実績	<p>本庁職員が施設運営に必要な事務用品、書籍、印刷用品の購入の他、各園の事業運営や維持管理に含めることの難しい運営に必要な諸事務を行っています。委託料は区有施設である「あけぼの作業所」の樹木剪定費で施設及び近隣の住環境の維持向上を図っています。</p> <p>23年度から新たに区有施設「あすなろ作業所」の光熱水費について、併設の清掃事務所と使用実績で費用を按分することとなり、予算計上を行い支出しました。事業者の一部負担軽減につながりました。</p>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事務事業の経費削減に努めながら、需用費の支出については効率的かつ効果的に執行しています。		
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	特にありません。		
	今後の予測	コスト削減に加え、環境に配慮した事務用品の購入が求められます。		
	評価と課題	運営に必要な諸事務・諸経費のため大きな改善・改革は難しいが、不要不急な経費の支出や必要性の薄れたものの支出について、常に見直しを行っていきます。		

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	常に全体の中で経費の見直しを行っていきます。		

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	すぎのき生活園の維持管理	款	4	項	1	目	6	事業	5	整理番号	234	
担当部課名	保健福祉部障害者生活支援課	係名	すぎのき生活園			連絡先電話番号	3399-8953			昨年度整理番号	239	
(平成23年度担当部課名)		保健福祉部障害者生活支援課							予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	55	年度							<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	すぎのき生活園の利用者					根拠法令等 (1) 杉並区立すぎのき生活園条例 (2)
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。					活動指標名(式) (1) 延べ床面積 (2) 開園日数					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○利用者が安全で快適に過ごせるようにするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。					成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 中規模修理事件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等					
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画				
指標	活動指標(1)	①	m ²	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	100.0		
	活動指標(2)	②	日	240	243	243	244	244	245	100.0		
	成果指標(1)	③	件	6	10	4	10	5	5	50.0		
	成果指標(2)	④										
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	20,140	20,155	19,453	20,512	19,872	21,809	23年度予算執行率%	96.9	
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内)委託費	⑦	千円	8,885	9,730	9,261	9,314	9,231	10,638			
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	2.95 1.00	2.90 1.00	3.04 1.00	3.00 1.00	3.04 1.00	3.04 1.00			
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	26,193	25,868	27,117	26,700	27,056	27,056		
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	2,793	2,950	2,950	3,080	3,080	3,080		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	49,126	48,973	49,520	50,292	50,008	51,945			
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	20,200	20,137	20,362	20,679	20,563	21,359			
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	2	0	2	0	2		
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0		
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0			
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	2	0	2	0	2			
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	49,126	48,971	49,520	50,290	50,008	51,943			
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 234

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				施設保守管理委託	
		光熱水費			7,943
		維持管理経費等			3,656
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	デジタル放送受信設備配置配線改修、親子時計の改修、自動ドアセンサー交換修理、誘導等・非常照明バッテリー交換、畳表替、空調機修繕等			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成14年度に、2つの施設であったすぎのき生活園、けやき生活園を併合しました。その後、維持や保守の契約の一本化を行うことにより維持管理経費の削減に努めています。老朽化が進み、小規模を含め毎年修理箇所がかなり出ています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	地震への耐久性、事業の継続性が求められています。 電気使用料の削減が求められています。
	今後の予測	さらに建物が古くなり、修理箇所が増えることが予想されます。 緊急時に事業の継続が求められます。
	評価と課題	清潔な施設になるよう委託先の清掃業者と定期的に話し合いの場を持っています。 危険箇所や修理の必要な箇所が出た時には速やかに対応しています。 緊急時のライフライン関係について調べています。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更			
	<p>○施設の老朽化に伴い、今後の建物についての方向性が求められます。</p> <p>○施設の有効活用が求められています。そのための施設環境の整備も必要になります。</p> <p>○緊急時に事業が継続できるようにライフライン関係のマニュアルの整備などが必要です。</p>					

特記事項	
------	--